

令和4年度

北本市立中丸東小学校

和楽器体験



第4学年

特色

- 音楽科の学習の一環として、北本市民謡協会の方に来ていただき、5種類（三味線・尺八・こきりこ・ささら・太鼓）の和楽器体験を行った。
- 実際に楽器に触れたり、演奏方法を講師の方に教えてもらったりする体験は、児童にとって、日本の音楽を学ぶ貴重な体験となっている。

児童の感想

- 三味線の三の意味は、線が3本あるからという意味だと知った。ささらの体験ができたし、数えたら本当に108枚あった。いろいろな体験ができてよかった。
- 昔からある楽器は、木のものが多かった。ささらが難しかった。手首を動かして元に戻すのが、初めてで難しかった。

成果

- 児童は和楽器を体験することで、楽器の特徴を理解したり音色を味わったりすることができた。
- 講師による民謡の演奏や話を聴くことで、民謡ができた背景を知ったり歌詞の意味を理解したりするなど、民謡への理解を深めることができた。